

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」



eラーニング専門家養成のための eラーニングによる大学院

熊本大学大学院 社会文化科学研究科
教授システム学専攻
北村 士朗 kit@kumamoto-u.ac.jp



国立大学法人 熊本大学

1

本日の話の流れ



- なぜ、この大学院を作ろうとしたのか？
- 教授システム学専攻 12のFAQ

4

熊本大学大学院 教授システム学専攻



日本初！ eラーニングによるeラーニング専門家養成大学院

- 平成18年4月 開設
- 学位:修士(教授システム学)又は修士(学術)
- 入学定員10名に対し志願37名→15名入学
- 科目等履修生も募集→22名が登録(前期20名)

2

国立大学法人 熊本大学



熊本大学は、1887年開校の旧制第五高等学校を創設の基として、
1949年に、戦後の新制度による国立大学として設置されました。
100年以上に渡り、総合大学として教育・研究を行って来ました。



小泉八雲



夏目漱石



池田勇人



佐藤栄作



7学部(文/教/法/理/医/薬/工)、
9大学院、11センター他



学生数約10,000人(内大学院約2,000人)、
教員数約1,000人、職員数約1,000人

5

皆さんのご興味は？



- 東京海上日動HRA 宇井さん
 - Eラーニング関係の業務
 - 今日北村の成長の跡を見たい
- NECラーニング 桜井さん
 - Eラーニング本部 ドーセントLMSの担当
 - 自社の人材育成の手段として活用させてもらいたい
- ソニーヒューマンキャピタル ときたさん
 - ソニーグループ全体の研修を担当
 - Eラーニングの制作をしている
 - SMEでは無いが、人に伝えるのはどうしたらよいのか
- ベネッセ 岡田さん
 - 福島県の過疎地域で学習サポートをしている(ライブ、オンデマンド)
 - なぜ、eラーニングなのか？どう変わったか？
- NEC安永さん
 - 文教ソリューション時業務 アイコラを担当
 - 大学～小学校までひとしきりやっている。
 - 音に聞こえた熊本大学の現場の声
- DK小林さん
 - eラーニングシステムの開発が本業教育をビジネスにしている
 - 最近、大学運営にも携わっている
 - 熊本大学の学生から「ついていくのが大変」と聞き、どこが大変かを知りたい

3

熊本大学eラーニングの軌跡



- 特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)
 - 平成15年度「IT環境を用いた自立学習支援システム」
 - 熊本大学学務情報システムSOSEKI
 - 平成16年度「学習と社会に扉を開く全学共通情報基礎教育」
 - 情報処理基礎学、情報処理概論
 - 2年連続は12大学のみ
 - 平成18年度「eにころ学習プログラムの開発」
 - 教職を目指す全ての学生にこころの健康のeラーニングを！
- 平成18年度
大学院「教授システム学専攻」開設！

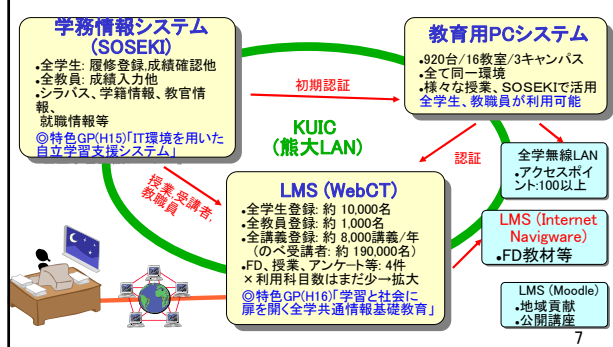
6

<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/> office@gsis.kumamoto-u.ac.jp

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

教育用情報システムの連携



教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何が出来るようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

11

なぜこの大学院を作ろうとしたか？

- LMSを利用したコースの実践(開発・実施・評価)
 - 全学共通情報基礎教育において**試行錯誤**により学習効果を高めるも、体系的知識の必要性を痛感
- SOSEKIと連携でeL全学展開→サポート体制が必要
 - IT面 → 総合情報基盤センター等
 - 教育面 → 教育効果を高めるにはどのような人材が必要？
- 解はインストラクショナル・デザイン(ID)
 - しかしながら……
 - IDを学修したeラーニング専門家は日本にほとんどいない
 - **では、我々が育成の拠点となろう！**

8

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？

日本初！
eラーニングによるeラーニング専門家養成大学院

IDを中心とした『4つのI』で
教授システム学(Instructional Systems)を学ぶ大学院

企業・大学等の広範な教育分野に
多様な人材を送り出す大学院

全国どこからでも授業を受けられる
インターネット大学院

12

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何が出来るようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

10

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何が出来るようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

13

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

2. 「教授システム学」って何？

Instructional Systems

- 教育活動やコース・教材をシステムとして捉え科学的・工学的にアプローチ
- 高品質なeラーニングによる教授システムを開発する上で必要不可欠な関連領域「4つのI」を体系化したもの



14

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何ができるようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

17

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何ができるようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

15

4. 修了すると何ができるようになるの？

コンピテンシーを公開

- コア
 - 必修科目の単位を取得することで身につく
- オプション
 - 選択科目の単位を取得することで身につく



18

3. どんな人材を養成するの？

『4つのI』でeラーニングのプロフェッショナルを養成



16

教授システム学12のFAQ

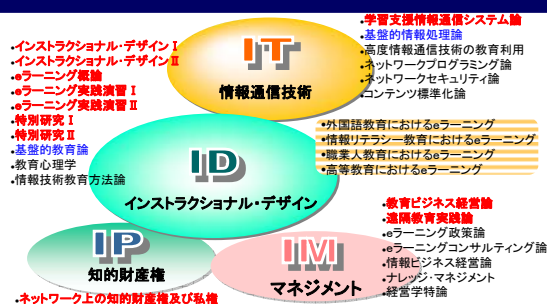
1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何ができるようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

19

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

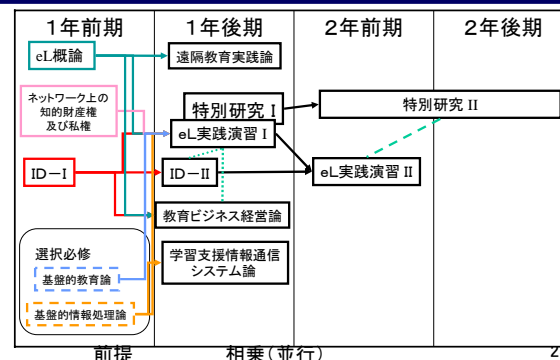
5. 科目体系は？



詳しくはWebサイト上のシラバスをご覧ください

20

必修科目関係図



23

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何が出来るようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

21

単位認定条件の例 (インストラクショナルデザイン I)

- 次の課題についての累積点数で評価する。ただし、すべての課題が合格点に達していることを単位取得条件とする。
加えて、用語等に関する小テスト(1,2,3,4,6,7,8,11,12回で実施 合計9回)を完了していることを単位取得条件とする。

[課題1]教材企画書(20点)

教材設計マニュアルP.164の「教材企画書の書き方」に沿って作成されていること。

[課題2]教材パッケージ(20点)

教材設計マニュアルP.168の「7つ道具チェックリスト」の総合評価で「1. すぐに形成的評価を実施できる状態」であること。

[課題3]教材作成報告書(30点)

教材設計マニュアルP.170の「教材改善のための書き方」に沿って作成されていること。

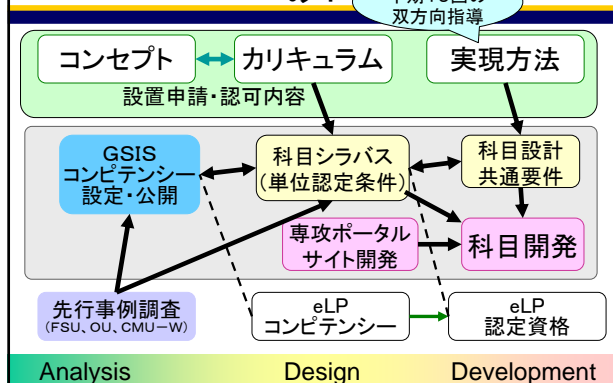
[課題4]相互評価レポート(30点:10点×3)

上記課題に関し、他の受講者の課題を評価し、その評価が妥当であること。

Webサイトに公開

24

6. プログラムはどのように開発したの？



シラバスガイドライン (科目設計共通要件)

1. 15回の双方向性を持った学習記録を残すように仕組む
(例:小テスト、クイズ、小レポート、練習問題への回答)
2. 成績評価は複数のレポート・作品+学習記録(15回分)を組み合わせ、各項目で6割以上を単位取得最低条件とする
3. レポート・作品はコンピテンシーと直結させる
4. 学習記録(15回分)の1/4は毎週設定せずに、数回分まとめて学習を可能にする
5. 非同期科目では日時を指定した同期型の一斉指導は半期で2回程度までに限定する(残りは非同期、または個別指導)
6. レポート・作品(または学習記録)に受講者相互の評価(改善への意見を含む)活動を取り入れる(仮提出→相互コメント→修正・本提出の基本的な流れ)
7. 科目の導入あるいは複数の課題ごと(15回の学習ごと)に科目担当者によるイントロビデオを作成する(顔を見せて動機づけをする目的に限定した短編とし、情報提供は書面を基本とする)

25

<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/> office@gsis.kumamoto-u.ac.jp

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

教育の質を保証する取り組み

- 人材養成目的に基づく体系的カリキュラム
 - **カリキュラム全体と全科目をIDに基づいて開発**
 - **専任教員全員によるシラバスの相互チェック**
- 出口の質保証
 - **コンピテンシーを定め、それに基づき科目内容を構築**
- 理論と実践の融合
 - **理論を踏まえた実習や演習で実践可能な力を**

26

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何ができるようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. **どんな人たちが入学しているの？**
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

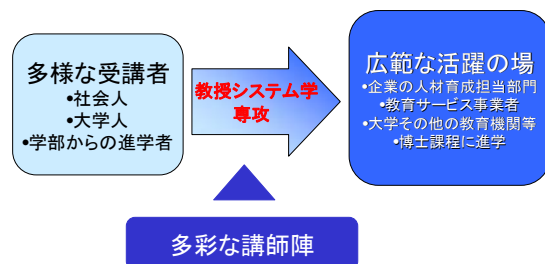
29

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何ができるようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. **講師陣は？**
8. **どんな人たちが入学しているの？**
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

27

8. どんな人たちが入学しているの？



30

7. 講師陣は？

- 産官学連携による多彩な講師陣**
- ID**
 - 日本のID教育の先端を目指すコア・チーム
 - 鈴木克明教授(日本のID第一人者)が指揮
 - 北村助教授(企業でIDerとして活躍)＋根本助手
 - IT・IP**
 - 全学協力体制による教員組織(IT・IP・IM)
 - GP採択の成果を挙げたIT担当教員
 - 実務経験豊富なIP及びIM担当教員
 - IM**
 - 研究や実務の最先端で活躍する非常勤講師
 - メディア教育開発センターの研究者
 - 日本イーラーニングコンソシアムのメンバー
 - 教育ビジネスで活躍する実務家
 - 産業界との協力体制
 - 日本イーラーニングコンソシアムの正会員(国立大学初)
 - 関係機関との協力体制
 - メディア教育開発センターと構想時から連携

28

学習者内訳

- 修士課程学生: 定員10名
- 出願・選抜状況

	06年	07年
出願	37	34
入学	15	20(合格者)
一般選抜	1	2
社会人特別選抜	14	17
外国人特別選抜	0	1

- 科目等履修生
 - 06年は20名が登録

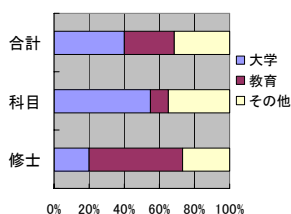
31

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

入学者の職業(06年)

- 大学(主に職員)と教育ビジネス関係が多い
- その他が予想外に多かった



	大学	教育 ビジネス	その他
合計	3	8	4
科目	11	2	7
修士	14	10	11

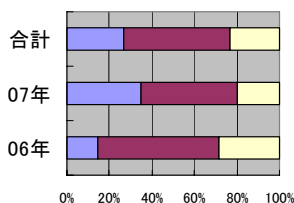
32

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何が出来るようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

35

入学(合格)者の職業(06~07年)



- 大学(主に職員)と教育ビジネス関係が多い
- 07年の「その他」
 - 一般入試(2)
 - 教育部門(2)
 - 技術部門(1)

	06年	07年	合計
その他	4	4	8
教育	8	9	17
学校	2	7	9

33

9. 熊本に行かなくてはならないの？

全国どこからでも授業を受けられるインターネット大学院
どこからでも 働きながら学び 学位を取得！

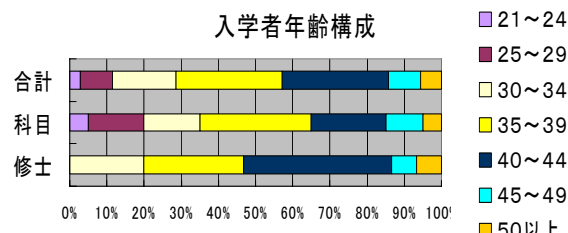


地方大学が全国区の社会人大学院を開設できるのもeラーニングならではの！

36

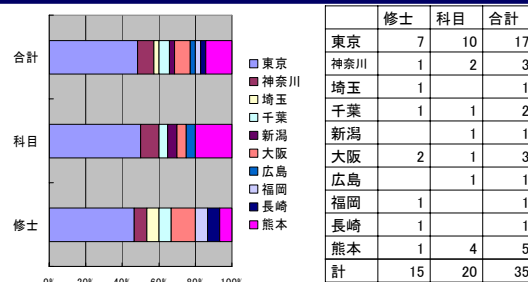
入学者(06年)の年齢層

- 30代~40代前半が中心
- 特に35~44歳が多い



34

入学者の現住所



東京が約半数、首都圏で過半数、熊本の修士は一人...

37

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士郎

学生・教員が直接触れあう機会

- 入科式・オリエンテーションガイダンス
- オフィスアワー
 - 東京リエゾンや教員の出張先で実施
- 学会やeラーニングワールドなどのイベント
 - 「熊大ナイト」の実施
- 集中授業（VODでの補習可）
- 合宿（2月に実施）
 - eラーニング実践演習・特別研究の中間発表会
 - 修論に向け、学生と教員がコミュニケーション
 - 来年度からは修論発表会としても
- 今年は学外の皆さんとの「勉強会」を仕掛けたい……

必須ではない

38

IDによる工夫はうまく機能しているのか？ 専攻ポータル+LMSをフル活用



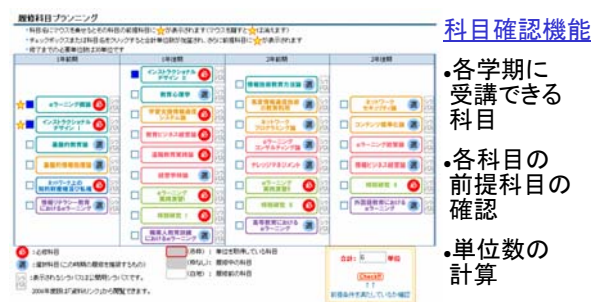
41

教授システム学12のFAQ

- 教授システム学専攻のコンセプトは？
- 「教授システム学」って何？
- どんな人材を養成するの？
- 修了すると何が出来るようになるの？
- 科目体系は？
- プログラムはどのように開発したの？
- 講師陣は？
- どんな人たちが入学しているの？
- 熊本に行かなくてはならないの？
- どんなシステムを使っているの？
- どんな授業をしているの？
- 受講者の様子は？

39

専攻ポータル 履修科目プランニング (科目体系と相互関係)



42

10. どんなシステムを使っているの？

- IDによる工夫はうまく機能しているのか？
専攻ポータル+LMS (WebCT) をフル活用
- 専攻ポータル
 - 履修科目プランニング
(科目体系と相互関係)
 - 学習進捗状況
(科目を超えた進捗状況、ショートカット)
 - ポートフォリオ
(コア/オプション・コンピテンシー)
 - コミュニティ
(学生・教員紹介、掲示板)

40

専攻ポータル 学習進捗状況 (科目を超えた進捗状況、ショートカット)



43

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

専攻ポータル ポートフォリオ
(コア/オプション・コンピテンシー)

コンピテンシー修得状況
確認機能
必修科目(コア)・選択科目
(オプション)全てについて
・各科目の課題とコンピ
テンシーとの関係
・提出状況
・採点状況
・前提条件クリア
・科目/タスク/課題
ページへのショートカット

44

11. どんな授業をしているの？

・事例でご紹介

- eラーニング概論
- インストラクショナルデザイン I
- 教育ビジネス経営論

47

専攻ポータル コミュニティ
(学生・教員紹介、掲示板)

コミュニティ機能
・学生個々のWebページへのリンク
・専任教員の紹介(ビデオ付)
・兼任、非常勤教員の紹介
・コミュニティ専用掲示板へのリンク

45

「eラーニング概論」(1)

特徴
・eラーニングコンソシアム
・研修
「詳説インストラクショナル
デザイン: eラーニングファ
undamentals」で2003年度
に開発した教材を使用

48

教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何ができるようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？
12. 受講者の様子は？

46

「eラーニング概論」(2)

特徴
・テキスト独学
↓
eラーニング事例を分析
(掲示板に書き込み)
↓
ディスカッション
の流れて学習を展開

49

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

「eラーニング概論」(3)



特徴

- eラーニングの現状を概観し、事例のよさを見極める目を育て、よりよくするための提言ができることを目指す科目
- 多くの課題の締め切りが一度に訪れる「危険な」科目

50

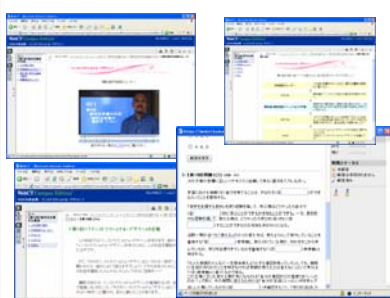
教授システム学12のFAQ

1. 教授システム学専攻のコンセプトは？
2. 「教授システム学」って何？
3. どんな人材を養成するの？
4. 修了すると何が出来るようになるの？
5. 科目体系は？
6. プログラムはどのように開発したの？
7. 講師陣は？
8. どんな人たちが入学しているの？
9. 熊本に行かなくてはならないの？
10. どんなシステムを使っているの？
11. どんな授業をしているの？

12. 受講者の様子は？

53

「インストラクショナル・デザイン I」



特徴

- 「教材設計マニュアル」をもとにIDの基本を学習
- eラーニングに進む前に「プリント教材」でIDのノウハウを確実に身につけられる
- 課題になかなかオーケーがでない科目

51

12. 受講者の様子は？

- **初年度は未だ真っ最中ですが・・・**
 - 修士課程学生の履修状況・学習状況
 - 科目等履修生の履修状況・学習状況

54

教育ビジネス経営論



- 教育を「ビジネス」として捉え、教育活動の構想・企画・構築・運営ができるようになることをめざす科目
- 企業内教育、教育サービス事業者、大学の3つの視点から最先端で活躍する実務家教員が担当

52

前期履修状況(修士課程学生)

	科目名	履修	修了
必修	eラーニング概論	15	13
	インストラクショナル・デザインI	15	13
	ネットワーク上の知的財産権及び私権	15	15
選択必修	基盤的情報処理論	10	8
	基盤的教育論	14	12
選択	情報リテラシー教育におけるeラーニング	2	2

55

日本eラーニングコンソシアム 2006年度 第5回「eLC活用事例委員会」

熊本大学社会文化科学研究科
教授システム学専攻 北村 士朗

後期履修状況(修士課程学生)		
	科目名	履修
必修	インストラクショナル・デザインII	13
	学習支援情報通信システム論	
	遠隔教育実践論(一部集中)	
	教育ビジネス経営論	
	eラーニング実践演習I	
	特別研究I	
選択	職業人教育訓練におけるeラーニング(集中)	8
	教育心理学	7
	経営学特論	11
		56

本日のお話の流れ

- なぜ、この大学院を作ろうとしたのか？
- 教授システム学専攻 12のFAQ

13番目のFAQ

入学するにはどうすれば？
入試は？

59

履修・学習状況(科目等履修生)			
	科目名	履修	修了
前期	eラーニング概論	16	9
	インストラクショナル・デザインI	11	4
	ネットワーク上の知的財産権及び私権	3	2
	基盤的情報処理論	4	4
	基盤的教育論	6	5
	情報リテラシー教育におけるeラーニング	0	0
後期	インストラクショナル・デザインII	3	
	学習支援情報通信システム論	6	
	遠隔教育実践論	4	
		57	

科目等履修生募集中！

- 出願
 - 出願期間:平成19年 2月28日(水)
～ 3月 2日(金)16時まで(必着)
 - 書面審査による選考
 - お手元の出願書類をお使いください！
- 引き合い多数
 - 大学の教員・職員、教育サービス事業者

<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/office@gsis.kumamoto-u.ac.jp>

60

教授システム学12のFAQ	
1.	教授システム学専攻のコンセプトは？
2.	「教授システム学」って何？
3.	どんな人材を養成するの？
4.	修了すると何が出来るようになるの？
5.	科目体系は？
6.	プログラムはどのように開発したの？
7.	講師陣は？
8.	どんな人たちが入学しているの？
9.	熊本に行かなくてはならないの？
10.	どんなシステムを使っているの？
11.	どんな授業をしているの？
12.	受講者の様子は？
58	

<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/> office@gsis.kumamoto-u.ac.jp